

近江楽座

2021

学生と
地域が
ともに育つ。

http://ohmirakuza.net/
滋賀県立大学近江楽座

「近江楽座」＝学生の力を生かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の「近江楽座」は地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。

2004年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）」に採択され、2006年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取組として、学内外で高く評価されました。そして、翌2007年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを生かし、更なる活動を展開しています。

大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題解決に学生・大学が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

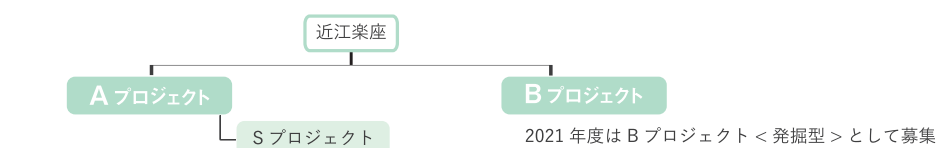
- 活動助成システム
「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。
- コンサルティングシステム
教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介、各種講習会の開催など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。
- 活動情報の発信・共有システム
中間報告会や活動報告会で活動の成果を共有・発信するとともに、ホームページやSNS、パブリシティなどにより活動の情報発信をサポートします。

プロジェクトタイプ

SDGsの視点を踏まえ、地域貢献活動を行っているプロジェクトを支援しています。これまでの17年間で延べ380のプロジェクトが活動を展開しています。

- Aプロジェクト（学生主体型プロジェクト）
「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集し、プレゼンテーションと審査を行い、支援するプロジェクトを選定しています。
また、これまでの近江楽座での実績をもとに更なるステップアップを目指し、活動資金の支援を必要としないプロジェクトを特別にSプロジェクトとして選定しています。

- Bプロジェクト（地域協働型プロジェクト）
自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り組むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。
2021年度は地域課題解決に向けた地域協働の取組を広げていくため、Bプロジェクト＜発掘型＞として、学生や教職員等、大学側からの提案を募集し、プロジェクトを積極的に発掘していきます。



SDGs（Sustainable Development Goals）とは

2015年の国連サミットで採択された世界共通の目標。限られた地球上の資源を使い果たすことなく継続的に利用し、誰一人取り残すことなく、環境・社会・経済における様々な課題の関係性に配慮して、2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットが設定されています。

主な流れ

step1 発起

近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
 - 大学での授業、フィールドワーク、研究など
全てが近江楽座につながる活動の芽
- 学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことができます。

step2 計画

一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
 - 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
 - プレゼンテーションと厳正な審査を経て採択
- 審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することができます。

step3 活動

独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
 - 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
 - 活動の中間報告を行い、活動の進捗状況を把握
- 活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりをもとに更なる成果や展開も生まれていきます。

大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし
成果と課題を共有し合う
 - 成果の発表だけでなく、地域関係や一般の方と
ともに意見交換できる場づくり
- 活動成果の展示発表と同時に、地域の方々や外部講師を招いて開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。



プレゼンテーション



交流会



中間報告会（キャンパスSDGs）



成果報告会

— VOICE / 先輩の声 —

西澤真志さん（保育士）

ボランティアサークル Harmony（2003～2007）



人とのつながりは一生もの。
思いっきり楽しんでください！

Harmonyでの活動は、とにかく楽しかったです！当時はHarmonyが立ち上がって間もない頃で、手探りの状態でした。お泊り会では、みんなでご飯を食べながらワイワイ過ごしたことがとても印象に残っています。私は、ボランティア活動をする上で、「自分自身が楽しむ」ことが大切だと思います。今はコロナ禍で自由に活動できない状況ですが、その中で「どうしても楽しく活動できるのか、コロナ禍が明けたらどんな楽しいことをしたいのか」をワクワクしながら考えてみてください！活動を通して得た人と人とのつながりは一生ものです。

私は大学の講義で沖島の少子化や過疎化が進み、あと数十年で暮らしが途絶えてしまう恐れがあると島民の方からお話を聞いたとき、私たち若者が何か役に立つことができればと思い『座・沖島』を発足しました。私はこの活動を通して、普段の学生生活では出会うことのなかった様々な立場や考え方がありと学びました。また、沖島の暮らしはまさに「持続可能な生活」だったため、「次世代への影響を考えることの大切さ」も身をもって感じることができました。学生のうちは失敗を恐れず、まずは一歩を踏み出してみましょう。その一歩は間違いない、その後のあなたにとって大きな財産となるはずです。

久保瑞季さん（大阪南工舎講師）

座・沖島（2016～2019）
かみおかへき民家活用計画「SLEEPING BEAUTY」（2015～2018）



失敗を恐れず、まずは一歩を踏み出してみよう

SCHEDULE 2021 - 2022

4月 / April

2020年度活動報告会（4/21-4/23）
2021年度プロジェクト学内公募（4/19-5/17）

6月 / June

2021年度プレゼンテーション・審査会（6/13）
2021年度採択プロジェクト発表（6/18）
湖風夏祭（6/19）
プロジェクト活動開始（6/22）
活動説明会（6/22）
「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始

7月 / July

滋賀県立大学オープンキャンパス（7/11,7/17,7/18,7/31）
スキルアップ講座

8月 / August

滋賀県立大学オープンキャンパス（8/1,8/22,8/23）

10月 / October

スキルアップ講座

11月 / November

2021年度中間報告会
湖風祭（11/6,11/7）

3月 / March

活動実績報告

4月 / April

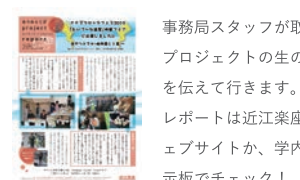
2021年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実！



各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知ることができます。

プロジェクトレポート発行中！



事務局スタッフが取材、プロジェクトの生の様子を伝えて行きます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック！

近江楽座でスキルアップ！

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。



PROFILE

近江楽座学生委員会

近江楽座を更に推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、募集全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問合せ窓口や活動紹介印刷物の発行、ホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

そろそろ会でチーム間の交流も！



楽座っ子同士の交流会「そろそろ会」の企画も行っているミイ！他チームの学生と交流できるチャンス！みんな集まれー！！



近江楽座

近江楽座事務局
問合せ先 | 滋賀県立大学地域共生センター
Tel | 0749-28-8616 Fax | 0749-28-8473

E-mail | info@ohmirakuza.net WEB | http://ohmirakuza.net/
〒522-8833 滋賀県彦根市入城町2500

発行 近江楽座事務局
制作 川崎恵子
取材協力 佐野文彦、西澤来

発行月 2021年7月

23 かみおかへ古民家活用計画-SLEEPING BEAUTY-

SDGs
11

- かみおかへ古民家活用計画-SLEEPING BEAUTY- (10名)
- 継続 (2012年-)、Bプロジェクト<発掘型>
- 彦根市 (上岡部町)
- 鈴木優奈 (人間文化学部)
- 林宰司 (環境科学部)
- 上岡部町自治会、ベストハウスネクスト株式会社
- <http://kamiokabeproject.blog.shinobi.jp>

古民家活用@かみおかへ町

上岡部町にある一軒の古民家を活動拠点に、①上岡部町の歴史・文化・伝統の調査・発信（歴史調査・ひょうたん加工と朝市での販売）、②古民家での展示発表（歴史などをまとめて発表）、③古民家改修を行っています。学生という立場から地域の人々に働きかけるといって上岡部町の諸課題の解決を目指し、コロナ禍であっても地域の人々の交流の場を作るべく活動しています。



SDGs

Sustainable Development Goals

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう



PROJECT CATALOGではそれぞれのチームの活動が関係している目標を上記のアイコンで示しています。